



みんなの広場

↓ 不思議なお話の世界を楽しむ子どもたち



子どもたちに大人気の白バイ乗車体験コーナー



7.9・10



俳句まつり受賞作品展示



館内に響き渡る少年少女・伊万里合唱団の美しい歌声

第 21 回図書館☆まつり 大きくはばたく図書館へ

開館 21 年を祝う第 21 回図書館☆まつりが市民図書館でありました。これは平成 7 年 7 月 7 日に市民図書館が開館したことを市民の皆さんと一緒に祝おうと、21 の市民団体でつくる実行委員会が開催したものです。初日は伊万里中学校、2 日目は啓成中学校のプラスバンドの演奏で元気よくスタート。読み語りやコーラス、おはなし会のほか、団体活動の展示や古本市、手作り製品の販売など多彩な催しが行われ、多くの市民でにぎわいました。

若いうちからバランス感覚を養って

小学校に一輪車 30 台を寄贈

市内の自営業者や経営者など異業種のメンバーで作る「相伸会」が、一輪車 30 台（16・18・20 ㎝、各 10 台）を市に寄贈しました。会では、地域貢献に使おうと、毎月開催する情報交換会で会費の一部を資金として積み立てています。今回、市内の小学校が一輪車の充実を望んでいることを聞き、子どもたちに使ってもらおうと贈ったものです。



7.1

↑ 塚部芳和市長に一輪車を手渡す相伸会代表・高木徳幸さん(前列右)

↓ 海岸に漂着したごみを回収する伊万里高校の生徒



7.5

カブトガニの産卵を前に清掃活動

カブトガニ保護活動

カブトガニ繁殖地として国の天然記念物に指定されている多々良海岸一帯を、伊万里高校の生徒 85 人が清掃しました。これは、カブトガニの保護活動として、毎年この時期に地元の団体や伊万里高校の生徒が行っているもの。カブトガニを迎えるため、海岸に漂着している多くのアシやプラスチックごみなどを回収し、産卵地を整えていました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎234313広報係直通)

『人権の花』贈呈式 思いやりの花を咲かそう

波多津小学校で、『人権の花』贈呈式がありました。これは、花の植栽や管理を通じて、友達と協力することや思いやりの心を育てようと、唐津・伊万里人権啓発活動地域ネットワーク協議会が行ったものです。サルビアや日日草など5種類の花苗 150 株を受け取った児童は、早速プランターに移植をし、今後も継続して大切に管理を行います。



6.8

↑江頭興宣副市長（左）などから花苗を受け取る児童

↓みんなの願いは天の川に届くかな



7.5

伊万里消防署で『防火七夕』 願いを手作りの短冊に込めて

みなみ保育園の園児 49 人が伊万里消防署で、『防火七夕』の飾り付けを行いました。これは、七夕の日を前に幼少期から防火意識を高めることを目的に、伊万里消防署が毎年実施しているものです。園児は思い思いに『火の用心』の願いを書いた短冊を飾り付け、消防署員と花火をするときには火の元に注意をすることなどを約束しました。

点 伊万里まちなか二番館、三番館が誕生 と点を繋ぎ『まちなか』を活性化

伊万里町のカフェ『LIB COFFEE IMARI』と、新天町のカフェ『Cafe museum』に、それぞれ伊万里まちなか二番館と三番館のプレートが贈呈されました。伊万里まちなか活性化運営協議会が運営する一番館を核として店舗を増やし、『点』から『面』への中心市街地活性化に繋げようとする構想です。今後も魅力あふれる〇番館を増やしていく予定です。



7.6

↑二番館のプレートを贈呈されたオーナーの森永一紀さん（左）

↓支援活動は、看護師や介護士など多職種で班編成されました



7.6

『チーム伊万里』が熊本地震被災地の支援活動を報告 施設間で連携した支援活動が実現

市内の介護事業者で結成した『チーム伊万里』が、熊本県益城町の高齢者施設での支援を終え、市長に報告しました。これは、災害時において、医療支援に対して介護支援が少ないことから、社会医療法人 謙仁会が市内の社会福祉法人などに呼びかけて実現したものです。5月17日から7月1日まで、4班体制で18人の職員が支援活動を行いました。